



Press Release

2019年9月11日

385PSを発生する911 カレラの4輪駆動モデル ニュー911 カレラ4 およびカレラ4 カブリオレがデビュー

ポルシェ AG は4輪駆動モデルの「911 カレラ4」および「911 カレラ4 カブリオレ」を導入し、911 モデルレンジを拡充します。

2020年モデルの911 カレラと同じく、911 カレラ4と911 カレラ4 カブリオレは最高出力で先代モデルを15PS上回る283kw(385PS)/6,500rpm、最大トルク450Nm/1,950-5,000rpmを発生するツインターボ3リッター水平対向エンジンと8速PDKを搭載します。911 カレラ4の0-100km/h加速は4.2秒で、オプションのスポーツクロノパッケージを搭載すると、このタイムは4.0秒まで短縮されます。911 カレラ4 カブリオレでは4.4秒、スポーツクロノパッケージ搭載モデルでは4.2秒です。最高速は911 カレラ4で291km/h、911 カレラ4 カブリオレで289km/hとなります。

911カレラ4Sと同様に911カレラ4はフロントアクスルを駆動することで、より高いパフォーマンスを発揮します。クラッチとデファレンシャルギアは水冷式となり、さらなる耐久性と高い負荷容量を得ました。これによりクラッチに掛かるトルクの微調整が可能となり、フロントアクスルのパフォーマンスが向上しています。強化されたフロントアクスルとポルシェトラクションマネージメント(PTM)が雪道だけでなく、通常と乾いた路面と濡れた路面でもさらなるトラクションを確保します。

新型の911カレラ4およびカレラ4カブリオレはポルシェアクティブサスペンションマネージメント(PASM)を装備しています。2020年モデルの911カレラにも標準装備される可変式電子制御ダンパーは、ノーマルとスポーツの2つのモードが選べます。カレラ4Sでは標準装備される完全可変式の電子制御リミテッドスリップデフギア、ポルシェトルクベクタリング(PTV)もオプションで装着可能です。911カレラ4とカレラ4カブリオレはともにフロントは235/40ZRの19インチ、リヤには295/35ZRの20インチホイールが標準で装備されています。カレラ4Sの標準サイズとなる前輪20インチ、後輪21インチはオプションとして用意されます。

911カレラ4のクーペおよびカブリオレでは、4輪ともに黒くペイントされた4ピストンモノブロックキャリパーと直径13インチの鋳鉄製穴あきブレーキディスクが装着されます。ポルシェセラミックコンポジットブレーキ(PCCB)はオプションで選択できます。その他の911モデルと同じく、ウェットモードは標準装備です。この機能は路面の水を検知し、それに基づいてスタビリティコントロールやABSなどを調整してドライバーに知らせます。ドライバーはスイッチを押すか、またはステアリングホイールのモードスイッチ(スポーツクロノパッケージ仕様)を使用して、安全性を重視する設定に切り替えることができます。

911カレラ4のエクステリアは、ポルシェの特徴とも言えるフロントフェンダーアーチのライン、初代911を彷彿させるフロントリッドのライン、テールタイトを繋ぐフルLEDライトなど、他の911モデルと共通のデザイン要素を備えています。911カレラ4Sと唯一違う点はエキゾーストテールパイプです。カレラ4では四角いテールパイプが左右に1本、カレラ4Sでは丸いテールパイプが左右に2本備わります。オプションのスポーツエキゾーストシステムでは楕円形のテールパイプが2本配置されます

911カレラ4のインテリアは911カレラや911カレラSと共通で、新たにデザインされたシート、ポルシェの伝統にのっとり中央に配置されたタコメーター、10.9インチのタッチスクリーンを採用したポルシェコミュニケーションマネジメント(PCM)が採用されています。スクリーンの下の5個のスイッチを備えたコンパクトなユニットによって、重要な車両機能に直接アクセスすることができます

<お客様からのお問い合わせ先>

ポルシェカスタマーケアセンター 0120-846-911 / HP <http://www.porsche.com/japan/>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

ポルシェジャパン PR 事務局 TEL : 03-5572-6063 / e-mail : porsche_pr@vectorinc.co.jp

ポルシェジャパンプレスサイト <https://press.jp.porsche.com>